

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 こども病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	Ⅰ未訓ガ	救地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,426,863	41,324	非該当	非該当	7：1

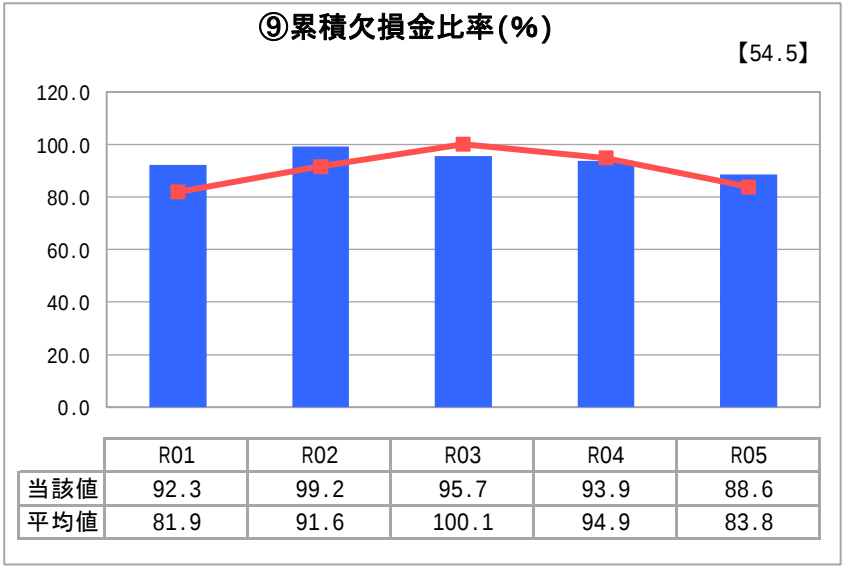
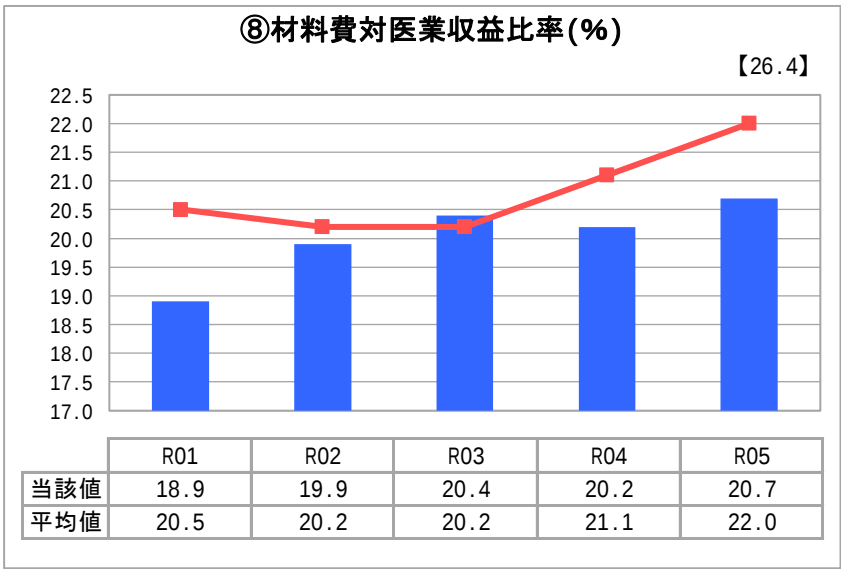
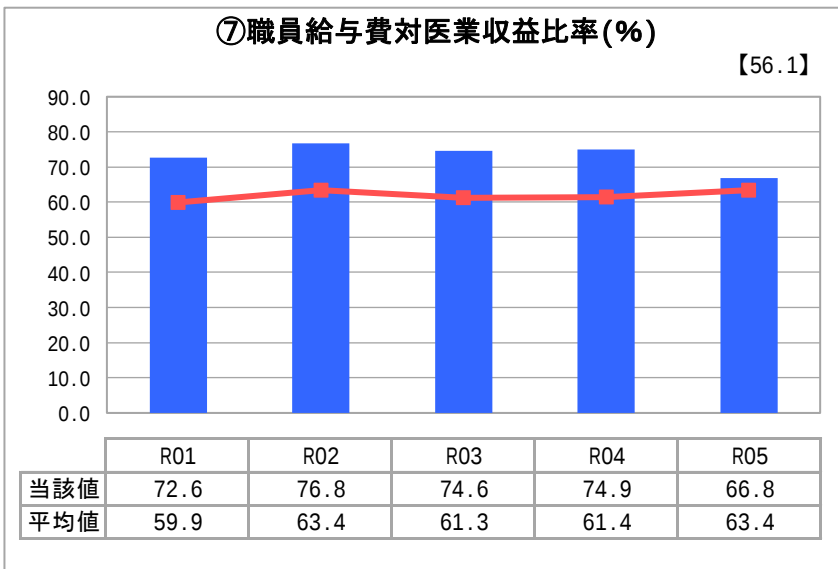
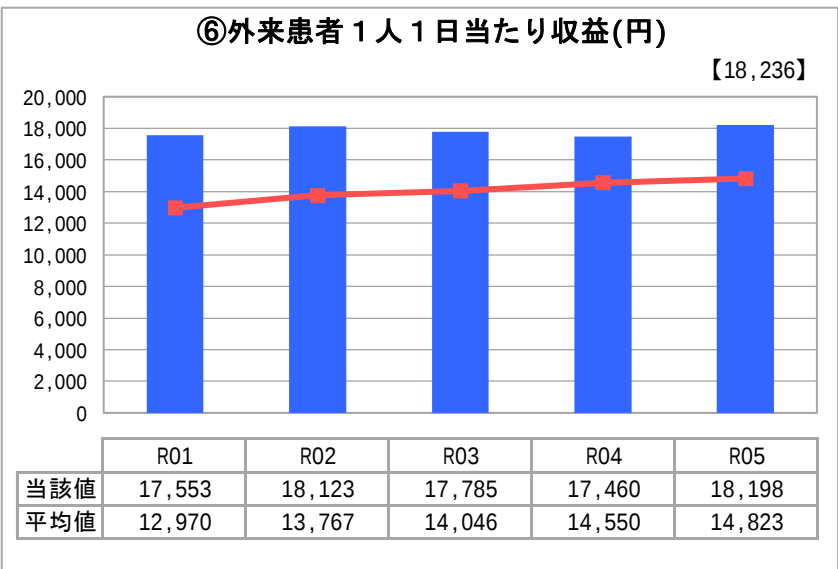
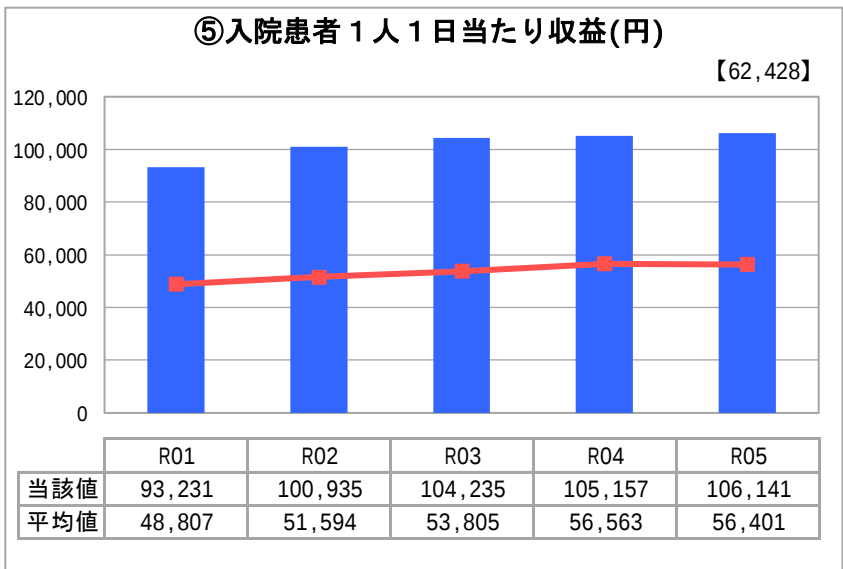
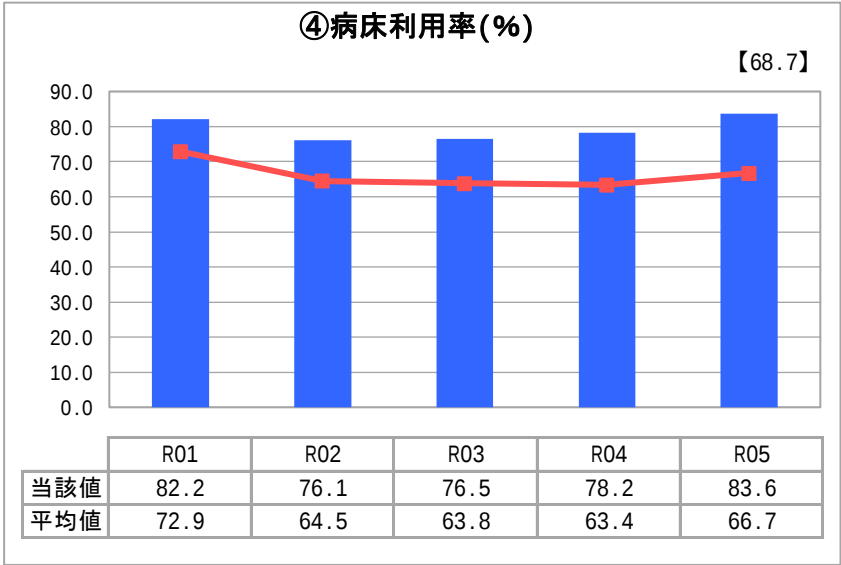
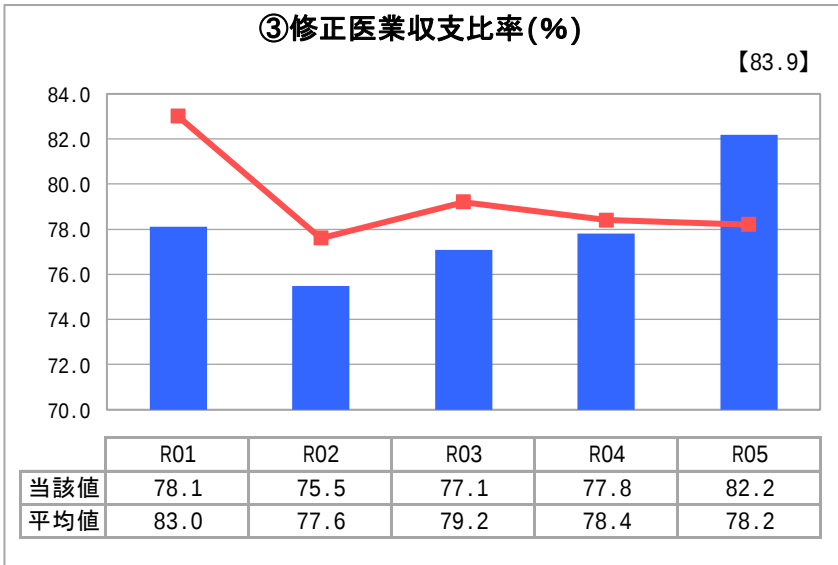
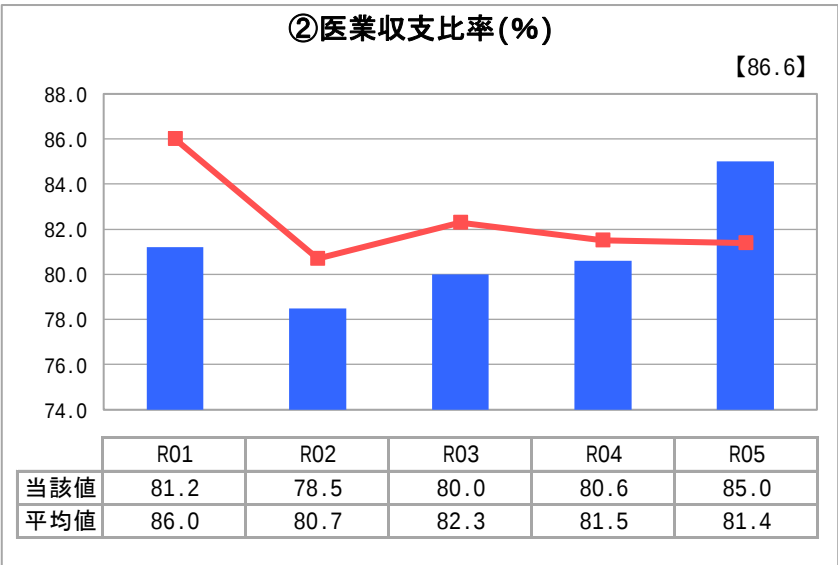
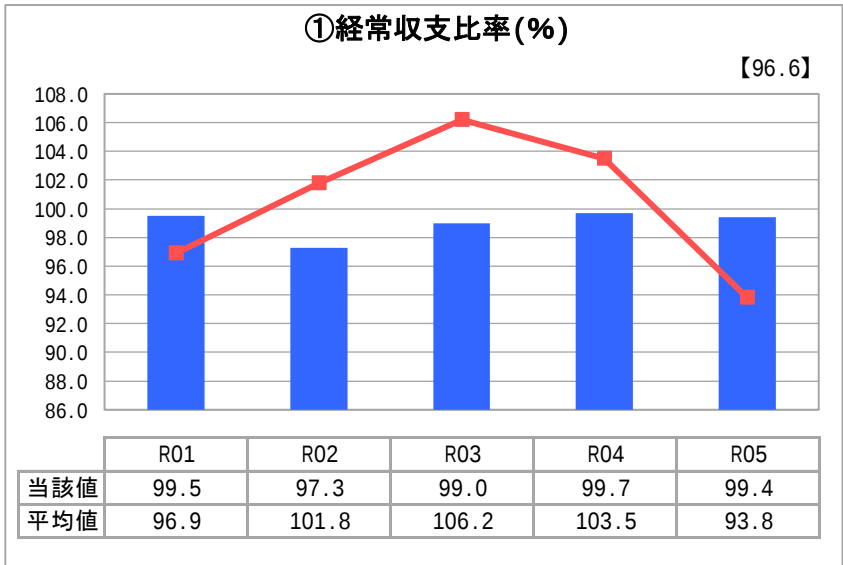
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

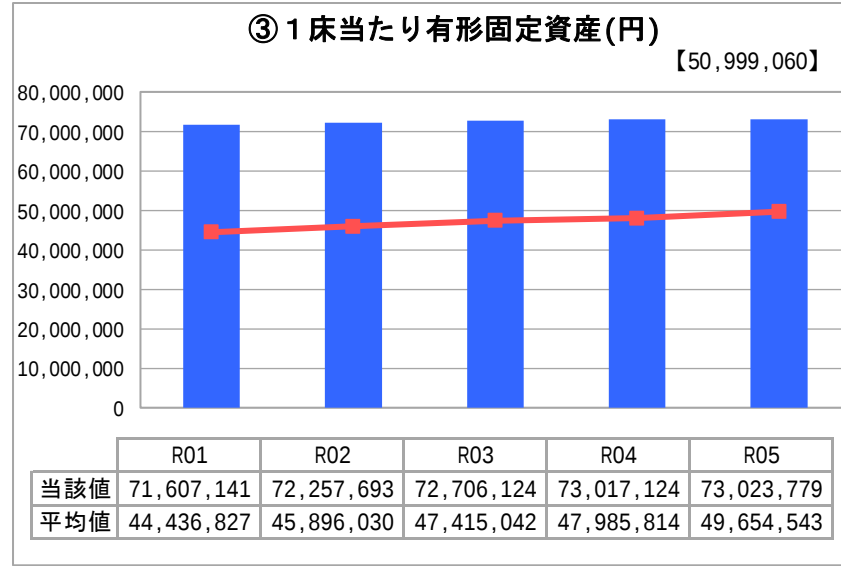
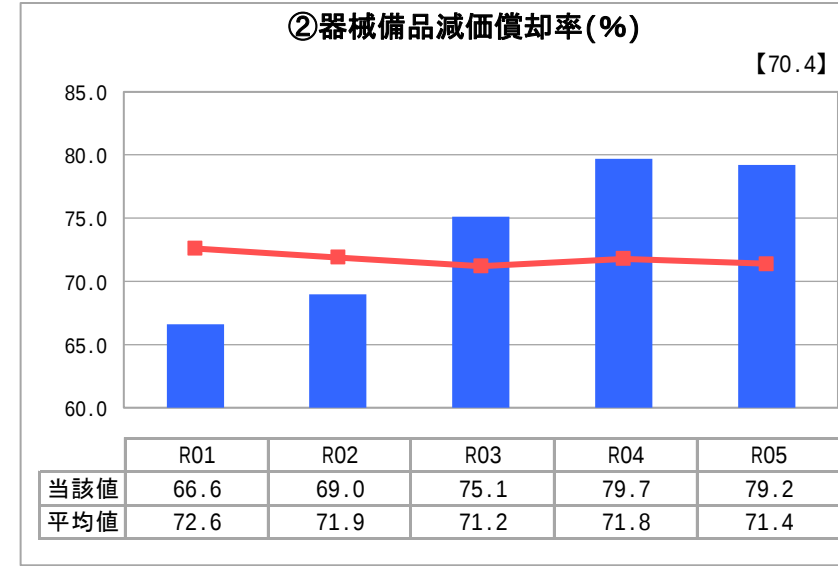
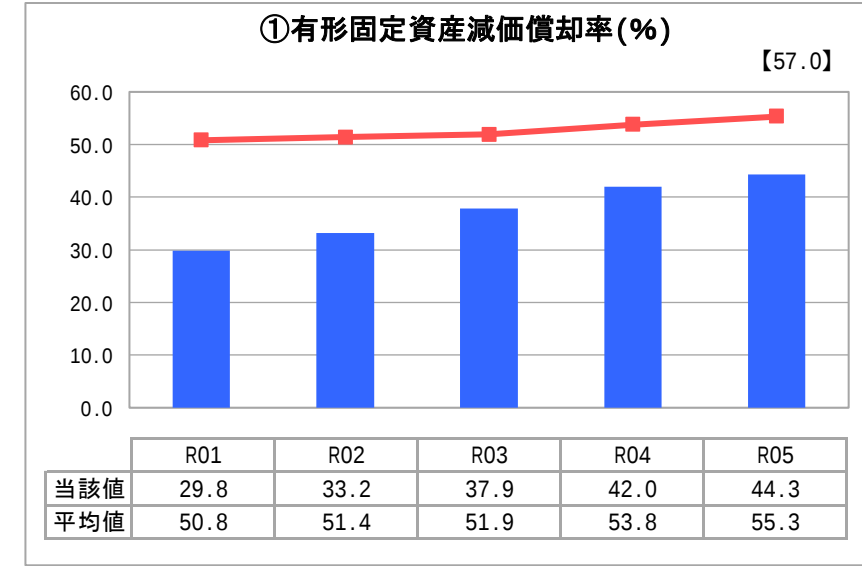
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
290	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	290
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
290	-	290

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

昭和45年に全国で2番目の小児専門病院として神戸市須磨区に開院、平成28年に神戸市中央区のポートアイランドに移転。
県内唯一の小児専門病院として高度専門・特殊医療を提供するとともに、高度急性期医療を担うことにより、小児医療の最後の砦としての責務を果たしている。
他の医療機関との役割分担と連携のもと、総合周産期母子医療センターとしてハイリスク妊産婦・胎児・新生児に対応するほか、小児救命救急センターとして重症患者に対する小児三次救急医療を提供し、また、小児がん拠点病院として質の高い小児がん医療を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収益は、コロナ関係補助金が大幅に減少したものの、救急患者が増加したこと等により入院収益が増加したことによりやや増加した。経常費用は材料費が増加したものの減価償却費が移転時導入機器の減価償却期間終了により減少したことにより、小幅の増加にとどまった。このため、経常収支比率はほぼ前年度並みとなった。
- ・医業収支比率は、入院収益が増加したこと等により前年度より改善した。
- ・小児専門病院である当院の診療単価は総じて類似病院を上回って推移しているが、医師、看護師等が多く、職員給与費対医業収益比率が高い状況が続いている。

2. 老朽化の状況について

- ・質の高い医療と安全安心な病院の実現を目指して策定された「県立こども病院建替整備基本計画」に基づき、神戸市中央区のポートアイランド内に新病院を整備し、平成28年5月に移転した。
- ・器械備品減価償却率は、病院移転時に診療機能高度化のため大量に整備した機器の多くが耐用年数を迎えたこと、従前から予算の都合等により機器更新が滞っていること等により平均値を上回っている。
- ・1床当たり有形固定資産は、一般的に小児専門病院は医療機器の設備に占める割合が同規模の一般病院に比べて高い傾向にあることから平均値を上回っている。
- ・保守点検や修繕等、適切なメンテナンスに努め、機器の長寿命化を図っている。

全体総括

- ・兵庫県下唯一の小児専門病院として、他の医療機関等との役割分担と連携のもと、小児・周産期、小児救急、小児がんに関する高度専門・特殊医療を引き続き提供する。
- ・診療機能及び質の向上を図り、平均在院日数の適正化に取り組むとともに集患対策を行うことで収益の向上を図る一方、費用の抑制に努め、経営の改善に努める。